

令和3年度 第22回川崎吹奏楽コンクールの開催形態について

令和3年5月30日

川崎吹奏楽連盟
理事長 黒田 学

新型コロナウイルス感染症が全世界に蔓延し、未だにその脅威は衰えておりません。日本国内でも感染拡大状況が続いており、今後も予断を許さない状況にあります。現在は、川崎市に隣接する東京都は、緊急事態宣言が発令されており、この川崎市もまん延防止措置がとられております。

このような状況に鑑み、川崎吹奏楽連盟では、今年度の川崎吹奏楽コンクールの実施形態について以下のように決定いたしましたので、ここにお知らせいたします。

このような開催形態となり、多くの皆さまがコンクールの演奏をお聴することができなくなることを心苦しく思っておりますが、何卒ご理解の程、お願い申し上げます。

記

- 1 第22回川崎吹奏楽コンクールは「無観客」で実施する。
- 2 運営にあたっては感染防止策を徹底し、教職員のみで行う。(高校生補助役員は無し。)
- 3 会場への入場は、演奏者、打楽器搬入補助員、顧問、指揮者、運営役員のみとする。
- 4 演奏団体は、演奏終了後にすみやかに退館する。表彰式は行わず、審査結果は川崎吹奏楽連盟ホームページで発表する。

※情勢に応じて、開催形態のさらなる変更や開催の中止も考えられます。その際は改めて、その内容を川崎吹奏楽連盟ホームページで公表し、併せて参加団体に通知いたします。

※上位大会の情報につきましては、それぞれの連盟ホームページでご確認ください。

※ご不明な点は川崎吹奏楽連盟へメールにてお問い合わせください。

以上